

今年度、SDGs をさらに推進するため、市民や民間事業者など、さまざまな方と連携しながら循環型社会の形成を目指します。その取り組みの一つとして、市が行う事業を SDGs と関連付けて毎月紹介します。☒ SDGs 推進室（内線 421）

第1回は、創エネ・畜エネ・省エネ住宅支援です。市では、脱炭素社会の実現に向けて、住宅におけるエネルギーの自給自足を推進するため、「創エネ」「畜エネ」「省エネ」を支援します。

①創エネ・・・太陽光や風力、地熱などの自然エネルギーや火力発電から発生するCO2を減らす技術
【補助制度】太陽光発電システム設置 最大35万円
☒ 環境課（内線208）

②畜エネ・・・出力が変動する自然エネルギーの蓄蔵技術
【補助制度】蓄電池システム設置 最大55万円
☒ 環境課（内線208）

③省エネ・・・住宅や建築物の省エネ性能の向上、建物全体の高断熱化など
【補助制度】えなの木省エネ住宅建設支援 最大50万円
☒ 林政課（内線415）



47

まきがね公園

自然と緑に囲まれた
幅広い方が親しむ憩いの場

長島町の「まきがね公園」に行ってきたんだな。広い敷地内には、体育館や野球場、テニスコート、弓道場など、スポーツ施設が充実しているんだ。年間を通じて、いろんなスポーツ団体が練習や大会を行ったり、市民向けのイベントが開かれたりしているんだよ。

老朽化が進んでいた体育館と健康体力センターは、3年前に改修されたよ。全てのトイレが洋式化された他、高齢者や障がい者向けのトレーニング機器を導入するなど、アスリートや運動する方だけでなく、幅広い方が使いやすい施設に生まれ変わったんだ。施設の周りは、自然と緑がいっぱい。ウォーキング



▲エーナも筋トレするんだな！

コースや芝生広場、家族連れに人気の遊具もたくさんあるんだ。子どもに大人気のローラー滑り台は、この春リニューアルしたよ。晴れた日には、御嶽山や中央アルプスの雄大な姿が、ここから一望できるんだな。

駐車場の下にある昭和ため池には、ニシキゴイがたくさんいるよ。体育館の受け付けでコイの餌（1袋50円）を購入して、元氣いっぱいのコイたちに餌をやってみてね。

日に日に暖かくなって、運動や散歩が気持ちいい季節になったね。みんなも、春のまきがね公園を訪れてほしいんだな。

☒ スポーツ課（内線482）、市体育連盟 ☒ 25-6478

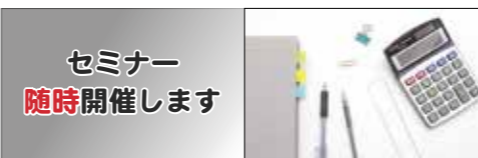


▲遊具は家族連れに人気なんだな！



事業所のデジタル化を支援します
デジタル化の総合相談窓口

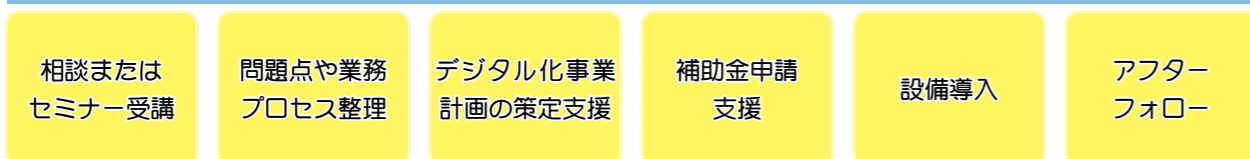
当センターでは、事業所のデジタル化に関する総合相談窓口を開設しました。「何から手を付けて良いのか分からない」「効果が分からない」「取り入れる業務が分からない」などの悩みを専門家が解消し、デジタル化を支援します。相談は無料です。まずは問い合わせください。



セミナー 随時開催します

- 【活用例】
- ・入力作業のデジタル化
 - ・工場の稼働状況をIOTによりリアルタイムに把握

支援の流れ



☒ 恵那暮らしビジネスサポートセンター 恵那市大井町 206-5
☎ 0573-26-2266（午前9時～午後5時・月曜定休） ✉ info@enalifebizsupport.jp

物知り先生のふるさと情報
（佐藤一斎生誕250年）

佐藤一斎と嚶鳴フォーラム

NPO法人いわむら一斎塾 鈴木隆一さん（岩村町）



▲渡辺華山筆「佐藤一斎（五十歳）像」

江戸時代の終わりに、学者や教育者として、多くの若者を育てた佐藤一斎。「言志四録」をはじめとした教えは、恵那市の生涯学習の源となつていきます。

一斎は、安永元（1772）年、江戸の岩村藩下屋敷で生まれました。今年は一斎生誕250年。11月にはこれを記念して「嚶鳴フォーラム in 恵那2022」が市内で開催されます。

嚶鳴フォーラムは、ふるさとの人々の実績や教えを、まちづくり、人づくり、心育てに生かしている自治体が集まります。情報交換や交流、連携を通して、より良い地域づくりを探り、実現していくための討論会です。同様の先人を輩出した自治体が交代で開催しています。

ちなみに「嚶鳴」とは、中国最古の詩集「詩経」にある言葉で、鳥が仲間を集めて鳴き交うという意味ですが、転じて仲間を求めて切磋琢磨しながら共に学び、共に成長し合う姿を表します。

フォーラムは、愛知県東海市の呼び掛けにより平成19年に発足。現在では、全国から15の市町が参加しています。平成21年第3回嚶鳴フォーラムは、一斎没後150年を記念して本市で開催されました。テーマは「未来を担う子どもたちのために、今、なすべきことは？」。行政、学校、地域、家庭…それぞれの役割でした。一斎が言志四録で「子を教うるの道は、己を守るに在り」と説きました。大人や親の学び方や役割、生涯学習の中で、ふるさとの人々の生かし方など、とりわけ生涯学習と子ども教育の相乗効果を考えたい政策について、参加した9市の方々の話し合いがなされました。